



# 鍵はどこ？

---

Reman

---

鍵を探していたんです。  
もうずっとずっと長い間。

扉はどこにでもありました。  
えんえん続くこの道の  
はるか先にもありました。

えいと蹴飛ばした石が転がって  
カーンと音を立てて見つかることも  
ありました。

湿気って灰色になった落ち葉くらい  
退屈なほどみつけました。

なので大切なのはやはり鍵でした。  
なんでも鍵があったなら  
特別な扉が開けられるんだとか。

だれもみたことのない  
自分さえ知らなかった  
一番欲しいものが  
そこで手に入るんだとか。

それはもう  
目の色変えて探しました。  
あっちかそっちかこっちかどっちか  
足の裏はタコがふくれて真っ赤っか。

ペラペラペラペラペラペラペラペラ  
本をめくりめくって人に尋ねて  
骨折り損のくたびれもうけ。  
鍵はどこにもありません。

そうしてそうしてようやくです。  
ながい旅路の果ての果て  
そっと小声でいいました。  
「もう、そろそろ休もうか」

休んでいたんです。  
もうずっとずっと長い間。

ベットはどこにでもありました。  
えんえん泣いてる部屋の中  
背中にもたれてありました。

しとしと降ってる雨の中  
シーンと音がなくなって  
ここにあってと眠りました。

ときにはシーツを引き裂いて  
ベッドの中にもぐり込み  
胎児のようになりました。

休んで眠ってぼんやりして、  
手のひらみつめて気付くんです。  
この手は何も持てはしない。  
この手を握る人はもういない。

もしも一つ願いが叶うなら。

そうして私は退屈な灰色落ち葉になりました。

ひらりひらりと舞い上がり

どこまで飛んできたのやら

ころりころりと蹴飛ばされ

どこまで転んできたのやら

ここがどこかは秘密にしましょう。

裸で宇宙にさらされて

いつ間にやらわたくしは

ひとつの小さな鍵でした。

さあどうぞ。

授かった役目を果たしましょう。

あなたの扉を開きましょう。

あなたがそれを望むなら。

鍵はどこ？

<http://p.booklog.jp/book/114260>

著者：Reman

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/kukuru/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/114260>

電子書籍プラットフォーム：パブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社トゥ・ディファクト